

Topics

第15回柳田邦男絵本大賞  
表彰式が開催されました

1月28日、ゆいの森あらかわゆいの森ホールで「第15回柳田邦男絵本大賞表彰式」が開催されました。これは、子どもや大人が絵本を読んで感じた感想や感動、読み聞かせをした体験などを、ノンフィクション作家・評論家である柳田邦男さんに向けた手紙にして送り、柳田さんが感銘を受けたものを選ぶという形式の賞です。今回は、子どもの部で1,667作品、一般の部で37作品の応募があり、その中から大賞などに選ばれた方々に柳田さんから直接賞状が授与されました。

また、表彰式のほかに、小・中学生による絵本の読み聞かせや、柳田さんによる講演会も行われました。



▲柳田さんから表彰を受ける氷室明希実さん(子どもの部・大賞)

尾久宮前小学校で  
味噌づくりを行いました

1月下旬、平和や国際的な連携を実践する「ユネスコスクール」に認定されている尾久宮前小学校で、6年生が「食育」を柱にしたSDGs学習で作った「宮前味噌」が完成しました。

宮前味噌は、昨年6月に子どもたちが仕込みを行い、その後、交流都市である埼玉県秩父市の新井武平商店で熟成が行われた味噌です。

子どもたちは味噌づくりに合わせて、図書館やタブレット端末を使って、味噌の作り方や栄養価などを調べる「調べる学習」も行いました。

長い時間をかけて完成した宮前味噌は、6年生に配付されたほか、給食では全校児童に提供され、「おいしい!」という声が聞かれました。



▲出来上がりを思い描き、仕込みにも熱が入ります  
▼自慢の味噌が出来ました!



令和4年度

あらかわお弁当レシピコンテスト

受賞作品発表!

今年も素敵でおいしそうなお弁当がたくさん選ばれました。小・中学生の部で選ばれた各賞のお弁当を紹介します!

荒川区長賞

小学校1~3年生の部

「わんちゃんイン(in)弁当」



天野 英実さん  
ひぐらし小学校・3年生

うどんう会で食べたそばろのお弁当がおいしかったので、自分でも作ってみました。

小学校4~6年生の部

「30品目と健康を気にした  
いろどり弁当」



栄養がたくさん入っているこのお弁当で、元気で笑顔な人を増やしたいです。

霜田 帆花さん  
第一峡田小学校・5年生

中学生の部

「～祖父母に向けてありがとうを～  
高知県産弁当」



福地 美里さん  
原中学校・1年生

高知県の祖父母の畑で育てたナスやしそ、かぼちゃを使って作りました。

どれも  
おいしそうだね!

女子栄養大学学長賞

小学生の部

「コロナかでがんばっている人達へ」



宮崎 愛子さん  
峡田小学校・6年生

コロナかでがんばっている様々な人へ向けたお弁当です。

中学生の部

「勉強がんばれ!! スタミナ弁当」



上原 歩美さん  
南千住第二中学校・1年生

受験生のお兄ちゃんへ、勉強がんばってねという気持ちを込めて作りました。

あらかわ  
今昔ものがたり  
日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館  
☎(3807)9234



その143 芭蕉さんが詠んだ春の句  
～「雑の家」の句と「行く春や」の句～

革の戸も住替はる代ぞ雑の家

「雑の家」の句 これは江戸時代の俳人・松尾芭蕉さんの句だよ。「慣れ親しんだ深川(江東区)の芭蕉庵に、小さい女の子がいる家族が住むと聞いた。きっとお雑様を飾るような華やいだ家になるだろう」という意味だ。芭蕉さんは、奥の細道の旅に出発する前に芭蕉庵を人に譲り、弟子の杉風さんの採茶庵(江東区)に身を寄せて旅の準備をしていた。その時の思いを詠んだ句だよ。

もう一つ芭蕉さんの春の句を紹介しよう!

行く春や鳥啼き魚の目は涙

「行く春や」の句 みんなは、芭蕉さんが元禄2年(1689)の春から156日間の旅をし、『おくのほそ道』という世界で一番有名な俳句の本を書いたことを知っているよね。

芭蕉さんが旅立ったのは3月末の27日。まだ薄暗い早朝にお友だちと船に乗り込んで隅田川を遡った。目指したのは江戸の北の玄関、千住。富士山や上野・谷中の景色に別れを告げ

ながら進むと江戸の境に架かる千住大橋が見えてきた。千住で船を上げれば、いよいよ江戸の町やお友だちともお別れだ。これからの長旅を思うと、二度と戻れないのではという不安や寂しさで胸がいっぱいだったはず。橋の袂まで見送りに来た人たちにその時の気持ちを込めて詠んだのがこの句だよ。「過ぎ行く春を惜しんで、ひとりでなく鳥も鳴いて悲しみ、魚までも涙で目を潤ませている」という句なんだ。

『おくのほそ道』の中で芭蕉さんは「行く春や」の句を「矢立初め」と呼んでいる。俳句の世界では、旅で最初に詠む句を「矢立初め」と言うんだって。だから、南千住は「奥の細道矢立初めの地」と呼ばれているんだ。南千住六丁目の素盞雄神社には、文政3年(1820)に建てられた芭蕉さんの坐像と「行く春や」の句を刻んだ碑(荒川区指定文化財)があるんだよ。

みんなの春の句 春は卒業・進級、出発の季節。芭蕉さんのように五・七・五に春の思いを託した俳句にチャレンジしてみ



▲荒川ふるさと文化館前のペイント画